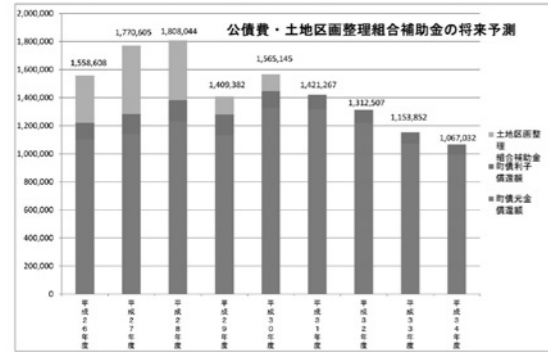




三芳みらい
山口正史
やまぐちまさふみ

脱財政硬直化宣言に関して 今後の行財政改革は



問 脱財政硬直化宣言では、経常収支比率の目標値を平成25年度で98%以下、26年度で96%以下としているが見通しは。

答 政策推進室長 確定した数字ではないが、25年度は98・2%、26年度で97・6%とみている。

問 平成30年度には町債の返済が今年度比で約2億3千万円増加し、経常収支比率が100%を超える危険性があるが、その対策は。

答 政策推進室長 行政改革懇談会を設置し、分かりやすい数値目標を設定することで行財政改革を進める。

問 平成28年度には、今年度比べて公債費と土地区

問 通行できる車種は。

答 総合調整幹 現在の普通自動車以外に、全長12m以下の大型バスやトラックまで拡大する。

問 フル化を計画するのであれば、町の将来ビジョンの作成が重要と考えるが。

答 総合調整幹 地域発展の寄与には、土地利用計画の作成が重要と考えている。

問 スマートインター利用者の住居地区を調査したか。

答 総合調整幹 調査はしていない。

問 フル化事業費の町負担額及び周辺道路整備費の予測は。

答 総合調整幹 概略検討ではあるが、フル化の負担額2億円、周辺道路の整備費4億円程度と考えている。

問 スマートインター利用の面整理組合補助金の合計だけで約2億5千万円増加するが、財源を含めた対策は。

答 財務課長 町税の増加が期待できないため、財政は非常に苦しい。思い切った事業の見直しで歳出の削減、国県補助金の有効活用で歳入の確保を行い、適正な予算査定を実施したい。

問 スマートインターのフル化に関して。



山田政弘
やまだまさひろ

認知症高齢者のご家族への支援対策を！ ネットワークづくりにより迷い人の保護を

問 認知症高齢者数と徘徊等の症状に悩む家族数は。

答 健康増進課長 介護認定者の中で、認知症の症状があると思われる高齢者は760人程度である。家族数までは把握していない。

問 迷い人放送は、家族からの要請で可能か。

答 自治安心課長 警察からの要請で放送をしている。

問 認知症サポーター養成講座を開催しているが、その効果はどうか。

答 健康増進課長 講座参加者からのアンケートによると、認知症の症状や、対応の仕方などが参考になったとの意見が多くあった。

問 迷い人保護のため企業等に呼びかけ、ネットワークづくりをしてはどうか。

答 福祉課長 今後調査研究していきたい。

問 学童保育室の待機児童数は何名いるのか。

答 こども支援課長 定員を若干超え入室している

問 こども子育て支援制度に向けて町の計画は。

答 こども支援課長 子育て審議会を開催し、支援事業計画を策定している。

問 子育て真最中の多いまちづくりを進めてはどうか。

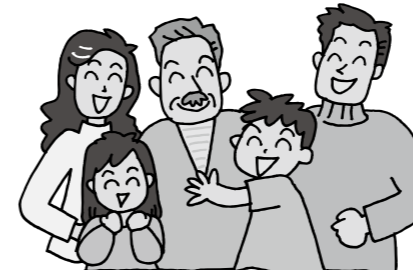
答 町長 オンリーワンの子育て世代中心の三芳町をつくっていききたい。

問 職員の今後の人材育成について。

答 定年退職者の有能な事務力、技術力等の継承は、再任用により進めたい。

問 女性職員の幹部登用を進めてはどうか。

答 町長 男女の区別なく能力主義をもって、幹部への登用を図りたい。



三芳みらい
菊地浩二
きくちこうじ

東武東上線の人身事故をなくすために！ 安全性を向上し、安定した運行の確保

問 平成15年以降東武東上線では自殺や不慮の事故による人身事故が志木駅から川越駅間だけで84件にもおよび近年増加傾向にある。電車への飛び込み自殺を無くし、不慮の事故を防ぐための施策を伺う。

問 東武東上線では平成26年に入り既に18件の人身事故が発生している。5月で5件、4月で6件とかなり多発している。東武東上線改善対策協議会では人身事故の多さについてどのように協議しているか。

答 政策推進室長 協議会の設置目的は鉄道の輸送力の増強及び鉄道施設の整備改善を促進することとなっている。人身事故の観点からみると、可動式ホーム柵の設置が有効となるが、鉄道会社からは膨大な設置費用やホームが構造上、設置に耐えられない、駅そのものを改修する必要があるなど早期に実現するのは難しいと回答をいただいている。しかし人身事故は多大な影響もあることから、今後は協議会で検討していくよう近隣各市の幹事に話をしていると考えている。

問 駅だけではなく、踏み



切りなどでもできる対策がある。青色防犯灯を設置したり、近隣住民に時間のあるときに見回りをしているだいたい地域もあるようだが、また物理的な対策だけではなく、そもそも自殺のない社会を作らないといけない。三芳町ではこれまでも自殺予防に取り組んできているが、広域でもっと連携して対策を打ち出せるようしてはどうか。

答 福祉課長 朝霞保健所管内6市1町の精神保健福祉担当者会議で自殺予防について情報交換している。広域で課題を共有し、検討する仕組み作りを提案していきたい。



公明党
岩城桂子
いわきけいこ

高齢者にやさしいまちづくり対策は！ 地域福祉計画の策定を！

問 高齢者の憩いの場であり健康増進の場でもある「ふれあいセンター」の今後の建設計画はどうか。

答 福祉課長 耐震診断の結果によるが「エコパ」利用と併せて、2年間にわたり検討していく。

問 近年高齢者の孤立死が多く、民生委員の見守り体制や社会福祉協議会での地域福祉活動との連携など町としての「地域福祉計画」の策定はどうか。

答 福祉課長 民生委員や社協の福祉委員の協力を仰ぎ地域の力を結集して見守りを図り、来年度着手していきたい。

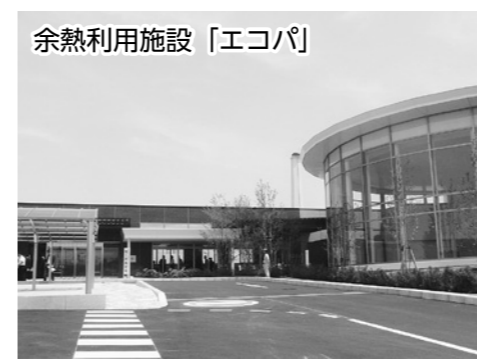
問 エコパ利用は。

答 子どもから高齢者まで楽しむことが出来る余熱利用施設「エコパ」のバス利用と停留所の改善は。

答 政策推進室長 町内2コースを午前と午後1便運行し、停留所はふれあいセンターの利用実績により町内全域をカバーしている。

問 健康マイレージ導入を。

答 医療費の削減や健康長寿のために健康診断の受診やスポーツ活動への参加



でポイントをため楽しむながら健康づくりをする「健康マイレージ制度」の導入は。

答 保健センター所長 住民の健康維持を高めるため先進地の動向を見て研究していきたい。

問 がん検診無料クーポンの未受診者に対するコール制の導入は。

答 保健センター所長 26・27年度は導入。今後2市1町の事務研究会で検討する。

問 男女共同参画社会推進。

答 DVなど女性相談窓口を夜間や土・日曜に拡充できないか。

答 総務課長 土曜開庁にできるよう研究していきたい。



三芳みらい
井田和宏
い だ かず ひろ

企業誘致・留置及び産業活性化策について 地域経済の持続的な発展を目指して

問 企業誘致・留置のための具体的な方策については。

答 政策推進室長 第4次総合振興計画の土地利用見直しやスマートICのフル化により、立地状況の競争力を高めていきたい。

問 スマートICフル化の進捗状況については。

答 総合調整幹 交通量推計や概ねの整備範囲を見極めるための基礎データの準備や検討を行っている。関係機関との協議等を行い、許可申請に向けて準備を進め、今年度中にスマートICの具体的な形状を決めていきたい。

問 交通量及び交通の流れの把握については。

答 総合調整幹 将来交通量推計のデータを精査し、スマートICへのアクセスルート把握し、安全対策や誘導計画を検討している。

問 近隣市との意見交換や調整については。

答 総合調整幹 近隣市と連携をとりながら、道路ネットワークが良くなるための協議の場を設けていきたい。

問 容積率緩和については。

答 都市計画課長 町全体の都市計画や将来の方針



問 企業側の声を聞く場は。

答 観光産業課長 町長の事業所訪問や地域経済活性化懇談会を行ってきた。今年度は事業所に対して意識調査を行う予定である。

問 企業誘致条例の制定は。

答 政策推進室長 状況を見極めた上で検討したい。

問 町内中小企業の活性化策については。

答 観光産業課長 町内企業の実態調査やネットワーク作りに関する講演会を行いたい。

問 中小企業振興条例の制定を考えると。

答 観光産業課長 先進市の状況等を調査研究していきたい。



公明党
小松伸介
こ まつ しん すけ

住んで良かったと思えるまちづくりを！ 集中豪雨・台風への対策を万全に！

問 集中豪雨による被害は。

答 自治安心課長 平成24年度は2件、平成25年度は18件の被害報告があった。

問 根本的な解決のため横断溝の設置や排水能力の強化等の対策が必要と思うが。

答 町長 調査をしながら、全体予算の中で優先順位を付けて対応していきたい。

問 子育て支援について。

答 平成26年4月現在の待機児童の状況は13名。

問 入所出来なかった方へのフォローは。

答 こども支援課長 家庭保育室の利用を促している。

問 第2保育所で0歳児の空きが2名あった。待っている方へ連絡を行ったか。

答 こども支援課長 生後の受入月数の不足で待機となっている。条件が合えば保護者へ案内を行っていく。

問 産後ケアの取り組みは。

答 保健センター所長 こんには赤ちゃん訪問や子育て講座等実施。今年度より出張育児相談も行う予定。

問 国では妊娠前から切れ目のない支援を行う「母子保健コーディネーター」



問 の設置等を推進している。当町でも実施しては。

答 保健センター所長 有効な事業と考える。近隣の動向を踏まえ研究していく。

問 新住民を取込む施策は。

答 政策推進室長 住民意識調査を通じ、子育て世代のニーズを把握し、実施できるものを検討していく。

問 第2保育所の耐震補強工事で、調乳室に空調設備の設置が必要だったので。

答 こども支援課長 今後早急に対応していく。

問 国・県有地について活用についての考えは。

答 財務課長 緑地公園に活用している箇所もあるが、その他は今の所予定はない。



日本共産党
杉本しげ
すぎもと し げ

満足度の高いまちづくりと受け皿作り 要支援者への介護サービスを低下させず

問 大型車を導入したスマートICフル化で産業活性化を図っているが、物流倉庫の大型化、他市との競合など立地・利便性において勝てる保障はあるか。

答 政策推進室長 都心から30キロ圏内にある当町は企業にとっては利便性はあると思う。関係機関と協議していく。

問 交通事故の危険や環境悪化をもたらす物流倉庫などの開発より、住宅や人手が必要な福祉施設の建設など定住人口を増やす施策が必要ではないか。

答 政策推進室長 「住み続けたいまち」をつくるには、総合的に魅力を高める必要がある。有識者の意見なども聞きながら検討していく。

医療・介護総合法案

問 要支援の方への訪問介護と通所介護が介護保険から外され、市町村の総合事業に移るとしているが当町の対応は。

答 健康増進課長 当面は引き続きサービスが受けられるよう、町から事業所に委託し実



問 特養ホームの新たな入所者を要介護3以上にしようとしているが影響と町の対策は。

答 健康増進課長 現在の待機者は91名で40%が要支援1・2の方。特別の事情のある方は入所できるが短期入所や老健施設などでの対応となる。

国民健康保険の広域化

問 国は国保の保険者を市町村から都道府県に移し、賦課徴収は市町村が行うとしているが県の考えは。一般会計からの繰り入れは。

答 住民課長 県は新たな支援方針を検討中。保険財政を維持するため一般会計からの繰り入れは必要だ。



石田豊旗
い し だ とよ き

庁舎の災害時対応は大丈夫なのか これから周知や実施する話ばかりだが！

問 住民サービスの格差を少なくするための広域連携を拡大する計画は。

答 政策推進室長 現状では拡大する計画はないが、今後単独での対応より効率的と判断出来るものがあれば連携事業として考えていきたい。

問 災害時の非常連絡網にアマチュア無線団体との協力体制は。

答 自治安心課長 有効な手段だと考える。協定を結んでいる自治体もあり研究していきたい。

問 町内に、危険物施設を有する事業所数と、防災対策は。

答 自治安心課長 85事業所あり、県の防災計画により事業者は管理責任が明記され、消防による危険物の保管場所や状況の立ち入り調査を受けている。

問 庁舎内で火災発生時の対処方法は。

答 財務課長 消防署に提出している消防計画書で自衛消防隊が組織されており、初期消火活動や避難誘導、防火扉、防火シャッターの閉鎖、排煙口の開放などの防護安全措置等の任務が定められている。

問 消防計画書は職員に



問 周知されているのか。

答 財務課長 現状では各課で理解されているとは自信を持って言える状況ではない。今回の避難訓練で周知徹底を図っていきたい。

問 職員への防災教育は。

答 財務課長 6月の下旬に全職員を対象とした防災教育と、7月には庁舎の消防総合訓練を計画しており、内容は、通報訓練、避難訓練、消火訓練を実施する。

問 来庁者の把握や、避難誘導体制は。

答 財務課長 避難経路図の掲示と、避難方法や人数把握は、防災教育で実施し安全を確保する。



久保健二
くぼけんじ

保育所・園児の安心・安全な環境の提供を 交通弱者を第一に考えた公共交通の導入を

問 第2保育所の建設工事が完了後、多くの課題、問題点が指摘されたが今後の対応は。

答 ことも支援課長 指摘された問題点については空調設備や備品及び改修工事について調整を諮って早急に対応していきたい。

問 来庁者へのサービスとしてインフォメーションの活用・窓口案内表示の改善・自動音声による呼び出し・待合スペースの配置及び大型モニターを設置しての行政報告等のサービスは出来ないか。

答 財務課長 来庁者の利便性や快適性を追求した窓口サービスを提供、住民の満足度を高めることは必要と考えている。

問 案内表示板・音声サービス・呼び出し器具を障がい者への対応・サービスとして導入・設置出来ないか。

答 財務課長 障がい者に優しい窓口の改善について、全庁的に検討していくべき課題と考えている。

問 9月からの試行運転をする内容で交通弱者と呼ばれる方々が利用出来ないといった状況にはならないか。

答 総合調整幹 需要が多くなれば利用出来ないこと



富士見市役所の案内表示

いった事態も想定される。試行運転で適切なデータを取りながら進めていきたい。

問 当町(三芳町)でいう交通弱者の中には障がい者の方に対象になっていないのに疑問を感じるが。

答 総合調整幹 試行運転での当町でいう交通弱者とはお年寄り、子どもを考えており体に障がいを持っている方は単独では利用出来ない。

問 タワシー会社と提携しての運営であれば福祉車両の導入も可能では。

答 総合調整幹 福祉車両を対象とするかどうかも含めて試行運転で必要の有無を把握しながら導入の検討の参考にした。



日本共産党
吉村美津子
よしむらみつこ

強引に進めるスマートICへの大型車導入

三芳P・AスマートICの社会実験が行われていたが対象は普通車だった。大型車導入に対して、地域の住民は「これ以上車の量を増やさないで」と前町長宛てに導入反対の要請書を出している。

前町長は、「税金投入額が大きいので慎重に考える」と述べていた。

問 町長は、大型車導入とフル化を2020年にスマートICへ開設するとしているが心配点をどうとらえているか。

答 町長 交通事故や緑の減少などがあると考える。

問 町は3千人を対象としてアンケートを実施したが問題点が設問や参考資料には少ないように感じた。アンケートには多くの人が自由意見欄に思いを書いていた。例えば交通事故が起ると思う。費用がかかりすぎるなど、町は14億の支出がかかると予定をしているが具体的な使用についてうかがうが。

答 総合調整幹 将来交通量の



精査をしているので、それを基に具体的な事業費の検討を行う。

問 国土交通大臣宛てに開越自動車道三芳P・AスマートICのフル化・車種拡大の要望書を提出しているがフル化の促進会議の構成団体は46団体で良いのか。

答 政策推進室長 すぐにはわかりません。

問 提出している団体において、この問題について各団体毎に話し合いは行われたのか疑問だ。

また、アンケートを行ったばかりで問題点もたくさんあるのに、なぜ、推進の要望書を町は国へ出したのかあまりにも不誠実だ。意見欄をどう受け止めたか。

答 町長 安全対策と共に、フル化を望む意見も多

意見書
意見書第5号
子どもの貧困対策の推進に関する法律に関する意見書

【趣旨】 経済的理由で就学が困難な子どもはこの10年で増加傾向にあり、経済的・社会的支援が必要である。子どもの貧困対策の推進に関する法律により具体的な支援策を盛り込んだ大綱が近々決定される。この大綱が貧困問題の解消に実効性のあるものとなるよう求める。

請願
請願第1号
国に対して手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

【要旨】 手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙(ごい)や文法体系をもつ言語である。手話を使う者にとつて、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。手話が音声言語と同等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出を求め、請願書を提出する。



【審議結果】 本会議において審議した結果、『採択』することと決定しました。なお、請願の趣旨である意見書の提出は、次回の定例会を予定しています。

(提出先)
内閣総理大臣
文部科学大臣
厚生労働大臣
内閣府特命担当大臣



日本共産党
増田 磨美
ます たまみ

定員適正化計画では適切な人数・人員配置を 保育の充実と子ども子育て支援新制度

町では、役場職員を平成31年までの5年間で、19人減少とする計画。人件費の削減や行政体制の整備のため。しかし31年までに非常に多くの定年退職者があり知識や技術の引き継ぎ、各課の事業の充実、職員の業務負担増、住民サービスの低下、災害時に町民の命と生活を守るのか等非常に疑問。

問 脱財政硬直化宣言で今年度の採用は特別な理由がない限り見送るとし、減少が多い技術職のみ1名の募集となった。しかし合格者が辞退したため採用は、0人だった。専門分野業務で必要な人員であれば、緊急募集すべきだったのでは。

答 総務課長 再任用を活用した。今後同じような事があれば検討が必要である。

問 公立保育所2所では、平成30年度に7人ものベテランが定年退職になる。今から若い保育士を計画的に入れ人材育成や指導を行っていかないと保育の充実は図れないのでは。

答 総務課長 しっかりと対応できる人員確保は必要とされている。



問 公立保育所の正規職員の割合は、40%で民間2園は、64%、三芳の基準になるべき公立保育所の正規職員の方が少ない。小さな子ども達の命を守る責任ある仕事であり正規職員が多いのが妥当。この職員配置をどう考えるか。

答 総務課長 正規職員拡充ができればと考えている。

問 第3保育所の定員増に伴う保育士、看護師の配置についてはどうか。

答 総務課長 第3保育所の保育士、看護師の確保も必要。きちんと配置できるように今後詰めていきたい。

【その他の質問】 子育て支援新制度の問題点について

議長・副議長からごあいさつ

町民の皆様には、平素より三芳町議会に對しまして、多大なご協力を賜り、心から感謝申し上げます。このたび、私たちは、5月20日の臨時会において、議員各位のご推挙をいただき、議長並びに副議長の要職に就任いたしました。微力ではございますが、町の発展と住民福祉の推進とともに心を新たに、議会の円滑な運営に当たり、公平な立場から誠心誠意最善の努力を尽くす所存でございます。今後とも、より一層のご支援ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



副議長
山口 正史



議長
内藤美佐子

議会広報広聴常任委員会を設置

3月定例会において、議員提案による三芳町議会会議規則の一部改正を行い、6月1日より、議会広報広聴常任委員会を設置することが決定しました。趣旨は、三芳町議会の広報の充実並びに広聴機能の強化を図る為のものです。したがって、今回より、三芳町議会だよりの発行担当は、議会だより編集委員会から議会広報広聴常任委員会となります。

1. 議会広報広聴常任委員会（8人）



上段左から 石田豊旗委員・小松伸介委員・細田家永委員・山田政弘委員
下段左から 秋坂豊委員・吉村美津子委員長・久保健二副委員長・山口正史委員

2. 所管

1) 議会広報活動に関する事項

- ①議会広報誌の発行
- ②議会報告会の開催
- ③インターネットを利用した情報発信

2) 町民からの広聴活動に関する事項

3) その他、議会の広報広聴に関する事項

傍聴席から



6月定例会の傍聴者数

	日程	人数
本会議	6月2日	10
	6月3日	13
	6月5日	12
	6月6日	29
	6月11日	24
委員会	6月2日 (厚生)	0
	6月6日 (広報)	0
	6月9日 (全協)	0
	6月10日 (議運)	0
	6月10日 (総務)	0
合計		88

定例会を傍聴された方からご意見・ご感想をいただきました。

国に対して手話言語法制定を求め、採択していただき私たちにとってうれしく思います。

(無記名)

子育て支援の保育所の現状がよくわかりました。よく勉強し質問されていたので感心しました。保育所と合せて幼稚園、こども園の状況も聞いて欲しかった。

(北永井 Fさん)

議案は閲覧できますが、傍聴者にももう少し資料が欲しい。

(北永井 Hさん)

議員の質問等、話がわかりにくい所があった。(藤久保 Kさん)

他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。



議会活動日誌

5月

- 7日 議会運営委員会
平成26年度第1回議会広報研修会
- 9日 入間郡町村議会議長会総会
- 13日 寄居町議会改革検討委員会視察来庁
- 20日 議会運営委員会
第3回臨時会
全員協議会
- 21日 議会改革推進特別委員会
- 26日 議会運営委員会
鹿児島県肝属郡町村議会議長会視察来庁



6月

- 2日～11日 第4回定例会
- 2日 厚生文教常任委員会
- 6日 議会広報広聴常任委員会
- 9日 全員協議会

- 10日 議会運営委員会
総務常任委員会
- 11日 議会運営委員会
- 17日 議会広報広聴常任委員会
- 18日 議会改革推進特別委員会
- 26日 議会運営委員会

7月

- 2日 入間東部地区消防組合議会第1回定例会
- 4日 埼玉県町村議会議長会臨時理事会
- 8日 議会広報広聴常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 15日 全員協議会
- 16日 議会改革推進特別委員会
- 17日～18日 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 23日 埼玉県神川町議会視察来庁
- 25日 議会運営委員会
第5回臨時会
- 29日～30日 埼玉県町村議会議長会議長県外視察

住民からの提案による
議員との対話集会

井戸端会議（2回目）

趣旨 議員が常に住民との対話に努め、住民の悩みと声を聞き、議論を重ね、調査・研究を進め、住民の福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指し、三芳町の各団体と協議して開催をする。

実施方向 実施要領を町内の各種団体に公表し、団体が抱えている問題点を、議員と意見交換する。

状況報告 まず、本来団体からの要求で実施するものだが、試行として、行政区の区長会をお願いして、北永井第3区（2月21日）と藤久保第2区（4月26日）を選定していただき、区側からの議題（テーマ）について意見交換会を開催いたしました。

藤久保第2区の井戸端会議

日時：平成26年4月26日（土）午後7時から
場所：藤久保第2区集会所
参加者：住民の皆さん10名 議員：8名
テーマ：富士塚地区・藤久保地区土地区画整理事業に伴う「公園整備」について

<主な対話内容>

- ①高齢者にやさしいベンチの設置要望について
- ②ボール遊びができる公園とできない公園のすみ分けについて
- ③健康遊具の設置について



非常に有意義な対話集会となりました。

井戸端会議

開催希望団体募集

議会改革推進特別委員会で検討を重ね、2回の試行（北永井第3区、藤久保第2区）開催を実施した結果、住民からの提案による議員との対話集会「井戸端会議」を、本格的に実施することが決定いたしましたので、開催を希望される団体を募集いたします。

実施要領は、

- ① 町内で活動されている各種団体の皆さんとの対話集会です。
- ② 集会のテーマは、団体が抱えている問題点をご意見とし提案いただいたものとなります。
- ③ 開催にあたっては、日時、場所については、団体と議会で協議し決定させていただきます。
- ④ 参加者は、団体にお任せさせていただきます。
- ⑤ 開催所要時間は、1時間30分位を目安にしています。
- ⑥ お問い合わせは、三芳町議会事務局まで。



議会報告会ふれあい座談会を開催しました

ふれあい座談会が4月19日、20日の2日間、農業センター、竹間沢公民館、藤久保公民館、北永井第2区集会所の4会場で行われました。内容は、平成26年度当初予算概要の説明や委員会活動報告、町民の方との意見交換でありました。町民の方から、様々な意見や質問が出されました。これからも、このような機会を通して、開かれた議会を進め、町民の方の声を町政に反映していきたいと考えています。

○参加人数

日時及び開催場所	参加人数
4月19日（土）18：00～20：00 農業センター	4人
4月19日（土）18：00～20：00 竹間沢公民館	7人
4月20日（日）10：00～12：00 藤久保公民館	28人
4月20日（日）14：00～16：00 北永井第2区集会所	29人



○主な意見・質問・要望

- ・このような会に気軽に参加できて良いと思う。もっと若い世代に参加して、意見、考えを共有するように促進してほしいと思います。
- ・障がい者にやさしいまちづくり、段差のないように、車いすが安心して通れるような道路をつくってほしい。
- ・新中央公民館ができますが、交通の事をもう少し考えてほしい。
- ・ふれあい座談会は確かに報告会ですから、状況報告が良いのですが、もうちょっと問題をしぼり、取り上げて、結論に進める座談会にしたらと思いました。1つ例を言うと、スマートICは、作ると聞いていたが、今日聞いたらまだまだ土地の場所も決まっていない状態がっかりです。
- ・町の観光ガイドマップ作成に予算をとつ

てもらいたかった。イラスト、わかりやすく、行きたくなるように。駐車場等の有無。

- ・住民にもっと関心を持ってもらうために何かできないものでしょうか。自発がBestとは思いますが、自治会等への参加要望はできないものか。
- ・町内道路の危険箇所、生活道路の歩道の整備をしっかりと考えてほしい。
- ・議会の様子をインターネットで公開してほしい。
- ・女性が安心して子どもを預けて仕事ができる環境づくり等子育て支援について真剣に取り組んでほしい。
- ・子どもが自由に遊べる場所、公園を要望したい。

*その他多くの質問、意見、要望をいただきました。

6月13日 金

唐沢小学校3年生2クラス77名が、校外学習で役場庁舎を訪れ、議場を見学しました。



議会だよりの表紙写真を 9/26(金) 締切 募集します！
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



夜間議会を開催します

日時：9月1日(月) 18:00から
内容：議員の一般質問

※詳細につきましては、決定次第、三芳町ウェブサイトの議会のページに掲載いたします。



次の議会定例会は



8月27日(水)

開会の予定です

皆様の傍聴をお待ちしております

ホームページ <http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/>

編集後記

梅雨の時期も過ぎ盛夏となりました。
今年も熱中症が気になるところで、地球温暖化対策が急がれる今日です。

三芳町では、定例会は、3月、6月、9月、12月と定めています。
6月定例会では、主に条例、契約、補正予算、請願等を慎重審議しました。
3月定例会は、4月1日から翌年3月31日の一年間(年度)の収入と支出を見積もる歳入歳出予算を、9月定例会では、歳入歳出決算等を審議しています。

議会広報広聴常任委員会は、町民の生活に関わるこの議会活動を「伝える」から読まれ親しまれる、「伝える」議会だよりを目指した編集を心掛けていきます。

議会広報広聴常任委員会
委員長 吉村

- 委員長 吉村 美津子
- 副委員長 久保 健二
- 委員 石田 豊旗
- 委員 細田 家永
- 委員 小松 伸介
- 委員 山口 正史
- 委員 山田 政弘
- 委員 秋坂

発行 埼玉県三芳町議会
編集 議会広報広聴常任委員会

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保11000-1
電話 049-258-0019 FAX 049-274-1057
Mail gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp